

《冬道の事故防止》

- 信号の変わり目を予測し、無理な通過はしない
- 黄色信号は、「止まれ」です
- 発進時の「追突」に注意しましょう
- 交差点手前、滑って交差点内で衝突！ 注意しましょう
- 凍結路面 スピードダウンと車間距離

急ブレーキ・急ハンドル・急発進
「急」のつく操作は、スリップの原因

事故防止のため、「早めの休憩を」
～2時間走行、15分休憩～

構内・バック事故の根絶

《冬期間の労働災害防止》

- 走るな！、転ぶぞ！、屋外作業、凍結路面は目に見えないぞ！
- 寒い外、心も体も、冷えている、あせると危ない、冬の外仕事
- 作業中、足を滑らせ、『転倒』に注意しましょう

- 作業する時、トラック(荷台も)に乗る時、降りる時は安全靴の底の雪を落とす
- トラック(荷台も)から降りる時は、路面の状況を確認し、飛び降りることは厳禁

《挟まれ・墜落・転落・下敷き 注意》

- ◇ 凍結路面 スピードダウンと車間距離 ◇
- ◇ 急ブレーキ、急ハンドルは禁物！ ◇
- ◇ 慌てず、焦らず走行しましょう ◇

午前8時 阿寒町下徹別の国道240号

路面凍結

軽乗用車と乗用車が正面衝突
軽乗用車に同乗の女性、意識不明の重体

2025/2/5(水)

5日午前8時半ごろ、釧路市阿寒町下徹別の国道240号で軽乗用車と乗用車が正面衝突しました。この事故で軽乗用車の運転手の男性と、同乗者の60代くらいの女性が病院に搬送されました。女性は意識不明の状態だということです。現場は路面が凍結していて、警察が事故の原因を調べています。

路面凍結でスリップか 路線バスが乗用車に追突

2025/2/5(水)

5日午前8時ごろ、福岡県の国道で路線バスが乗用車に追突しました。追突された車に乗っていた2人にケガはありませんでした。バスに乗客はおらず、運転手の男性にもケガはありませんでした。バスの運転手は「スリップした」という趣旨の話をしているということです。警察は路面の凍結によるスリップが事故の原因ではないかとみて調べています。

凍結路面 乗用車がスリップ
対向車線にはみ出したか？
ダンプと衝突 乗用車が全焼

2025/2/5(水)

5日午前9時ごろ、広島県の国道で、乗用車がスリップして、対向車線を走っていたダンプに衝突したということです。乗用車が全焼し、ダンプも一部が焼損しました。乗用車を運転していた男性(30代)は胸を打つなど病院に搬送されていますが、命に別状はないということです。事故現場は当時、2～3cmの積雪があり、路面は凍結していたとみられています。